

注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【タイトル】

ウルヴァリンvsジェイソン

【作者名】

Banker.k

【あらすじ】

海外ホラー映画

13日の金曜日の殺人鬼ジェイソンとMARVELの人気ヒーローウルヴァリンが戦ったらどうなるかを書き綴ったものです

ぜひご覧あれ！

第一話 ジェイソン・ボーヒーズ

「クリスタルレイク」

その場所は「ジェイソンの故郷」とも呼ばれている

「クリスタルレイク」に行った者は殺される

そう「殺人鬼ジェイソン」によって・・・

第一話「ジェイソン・ボーヒーズ」

アメリカのとある学校

そこにジェイソンは通っていた

ジェイソンはいじめられていた

顔がゆがんでる

それを理由に・・・

ある日、学校の行事でキャンプをすることになった

キャンプ当日

子供たちが遊んでいるのを眺めるジェイソン

もちろん一人で

みられているのに気づいた男の子がジェイソンに近づいてきて

「お前顔変なんだよ！そんな顔でこっちみんな」

と、怒鳴りつけた

ジェイソンは注目の的だ

子供たちは一斉に近寄ってきた

「何でいるの？」

「気持ち悪い！」

耐えきれなくなったジェイソン

その場から逃げ出すが、子供たちに追いかけて回され湖に落とされてしまっ

その湖の名は

「クリスタル湖」

ジェイソンは泳げないのだ

クリスタル湖に落とされたジェイソンは助けを求めるが、子供たちは笑いながらみているだけだ。

キャンプ場の係員は知らん顔して女と性行為をしている

そして子供たちも去っていった

ジェイソンはイジメの末助けてもらえず溺れ死んだのだ

何十年が立ったある時

クリスタルレイクに数人の若者がやってきた。

どつやらキャンプをしにきたようだ。

「さあついたぞー！」

一番年上 デイビス

「けっこう遠かったわね 疲れたわ」

デイビスの彼女 キャメロン

「でもさ、いいところじゃないっすかー！」

最年少 ブラッド

「そうね！湖もあるし景色もいいわ」

ブラッドの幼馴染 ケイト

「そ、そうかな？なんか嫌だよ、おれ」

オタク系 マイク

「ははっ！臆病っすね。マイクは」

ブラッドが言うとマイクは

「そ、そんなことねえよ！た、ただなんかその…雰囲気ってやつが…」

と言ってますこし焦っていた

「まあとりあえず、今日はここにテントはって、キャンプしましょー！」

ケイトが言う

「な、なあ本当にこんなとこにすんのか？お、俺の家とかじゃだ、ダメ

なのかな？」

マイクは震えながら言う

それを聞いたデイビスが

「いい加減にしろ！そんなに嫌なら、お前なんできたんだよ！」

正論だ

「……………」

謝るマイクをみてデイビスは「うむ」と頷いて

「よし、テントはるの手伝ってくれ」

そこから時はすぎ 夜

焚き火を囲んで盛り上がっている

「よし、キャンプといえば定番の恐怖の話でもしようぜ…」

「いいつすね！誰からします？」

「そういえば、マイク」

「え？なに！」

「あんたきた時からビクビクしてるわよねえ。何かあるなら、今言いなさい」

「え？あ、ああ 言った方がいいのかな？」

「いいなさいよ」

「わ、わかりました。僕は本当はこの場所に来たくなかったんです。」

「なんでですか？」

「じつは昔、この場所で男の子が殺されてるんだよ。もし、幽霊とかでたら、嫌だから」

「・・・」

「はっはっは、マイクまさかそんなことあるわけないだろうっ！」

「そ、そうだよーあるはずないよーね」

マイクがそう言った時ケイトが

「あの、あたしちょっとトイレ行きたいんだけど、どこですればいいかな？」

「そこらへんでしていいよーほい紙」

「ありがとうー！」

ケイトが用をたしに行ってから5分くらいたったが戻ってこなかった

不審に思ったブラッドが

「俺、ちょっと探してくるっす」

と行ってその場を去った

しばらくしてからブラッドが真っ青な顔をして大慌てで戻ってきた。

「どうしたのよ？」

キヤメロンが聞くと

「ケ、ケイトが向こうでケイトが！」

「とにかくケイトのところに行こう！」

ケイトのところに向かう

しばらくすると木が2本ならんでいた

その木の間に人の影のようなものがぼんやりと、近づいてみると斧で顔を刺された死体が……

ケイトだった……

死体をみた瞬間

みんなの顔が青ざめる

警察を呼ぼうにも携帯は圏外

ブラッドはパニック状態

キヤメロンは瞳孔が開いたまま動かない

デイビスは落ち着いている

マイクはとにかく震えている

さあどうする!!